

周産期における葉酸摂取の重要性 に関するシンポジウム

日時：平成30年1月27日（土）14:00～17:00

会場：TKPガーデンシティ仙台（アエル）30階 ホール30B

共催：東北病院薬剤師会、宮城県病院薬剤師会、仙台市薬剤師会
公益財団法人一般用医薬品切り替えイノベーション振興財団研究班

後援：宮城県助産師会、宮城県薬剤師会、宮城県

14:00 開会挨拶 東北医科薬科大学 薬学部臨床薬剤学教室 教授 村井 ユリ子

14:05～15:45

一般演題 座長：公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 薬局 小倉 知恵美 先生
国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 薬局 湊 敬子 先生

「周産期を考慮した栄養と食事摂取のポイント」

岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 講師 坪田 恵 先生

「妊婦における葉酸サプリメント摂取」

東北大学病院薬剤部 准教授 小原 拓 先生

「医療従事者・医療系学生における葉酸の認識」

昭和薬科大学社会薬学教室 准教授 原 梓 先生

「周産期領域における病院薬局連携の取り組み」

元 聖隷浜松病院薬剤部、現 協本産婦人科 峯田 保恵 先生

「妊娠と薬外来での葉酸との関わり」

国家公務員共済組合 虎の門病院薬剤部 山根 律子 先生

15:45～16:00 休憩

16:00～16:40

基調講演

座長 山形大学医学部附属病院薬剤部 准教授・副薬剤部長 豊口 禎子 先生

「葉酸は神経管閉鎖障害を予防するが、発生率は低減せず」

医療法人 熱田リハビリテーション病院 副院長 近藤 厚生 先生

16:40～17:00 総合討論

17:00 閉会挨拶 仙台市薬剤師会 副会長 森川 昭正 先生

問合せ先：東北医科薬科大学 薬学部臨床薬剤学教室 TEL：022-727-0162

* 日病薬 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 認定申請対象講習会（1単位）（申請中）

* 日病薬 病院薬学認定薬剤師制度 領域V-3（1.5単位）（申請中）

* 日本薬剤師研修センター研修（1単位）（申請中）

注）なお、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会の単位取得を希望される方は、
参加費500円に加え、終了後レポートの提出が必要になります。